

ココロがある。

ミニディスクロージャー誌

お客さまとともに

平成 23年 9月期

(平成 23年 4月 1日～平成 23年 9月 30日)



ココロがある。コタエがある。  
西日本シティ銀行

博多から海へ、アジアへ続く道へ

## 経営理念

### 理念

西日本シティ銀行は、高い志と誇りを持って時代の变化に適応し、お客さまとともに成長する九州No.1バンクを目指します。

### お客さまに一番近い

お客さまに一番近い銀行として、誠実に対応し、圧倒的に支持される銀行をめざします。

### 地域に貢献する

健全経営を基本に、地域に貢献し、積極的に社会的責任を果たすことで広く信頼される銀行をめざします。

### 期待に応える人づくり

あたたかな心とチャレンジ精神を持ち、自由闊達で積極果敢に行動する人づくりに努めます。

## 行動憲章

### 心がある

私たちは、いつもお客さまの身になって、丁寧に対応し、真摯にご相談に取り組みます。

### 情熱がある

私たちは、いつもお客さまの声に、熱く行動し、チャレンジし、スピーディにお応えします。

### 夢がある

私たちは、いつもお客さまの期待をこえた、新しく、価値のある提案をお届けします。

## CONTENTS

# ココロがある。

SIDE

トップメッセージ	①
中期経営計画「New Stage 2011」元氣よく	②
企業まるごとサポート	④
人生まるごとサポート	⑥
CSRと地域との共栄	⑫

# 国内トップレベルのサービスを地元で提供する 時代の変化に対応した総合金融サービス業への進化

取締役頭取

久保田 勇夫



## 中期経営計画 順調にスタート

平成23年4月より3年間の計画期間とする中期経営計画「New Stage 2011」(「元気よく」)をスタートさせました。「時代の変化に対応した総合金融サービス業への進化」と「徹底した生産性の向上」の2つをコンセプトに、お客さまのライフステージから生じるさまざまなニーズに対し、お客さま目線に立った最適なサービスの提供に取り組んでおります。

## 強靱な経営基盤の構築

現在の経済情勢をみますと、ギリシャに端を発する欧州の財政不

安や米国の景気後退懸念などを主因として世界経済の減速懸念が強まり、国内においても円高や長引くデフレ、加えて震災の影響など多くの不安定要素を抱えています。このような状況のもと、当行は地域のお客さまへの貢献を二層強化していくために、いかなる状況にも耐えうる強靱な経営基盤の構築に日々取り組んでおります。

## 「まるごとサポート」の積極展開

企業と個人のお客さまのライフサイクルの各段階に応じ最適なサービスを提供する「企業まるごとサポート」と「人生まるごとサポート」の考え方に立って、さまざまな先進的機能、多様なサービスの提供に取り組んでおります。

お取引先企業の海外事業を資金面でバックアップするため、全国の地方銀行で初めて国際協力銀行と連携した「ツー・ステップ・ローン」の取扱いを開始しました。また、

お取引先の販路拡大と地場産業の振興を目的とした「九州新幹線全線開業記念商談会」や、お取引先企業の業種、成長ステージに応じた経営戦略支援のための「M&Aセミナー」、「医療セミナー」、「事業承継セミナー」などを多数開催し、専門性の高いきめ細かいサービスの提供に努めております。

個人のお客さまとのお取引につきましては、「ローンプラザ」「コールセンター」「ほけんプラザ」など土日にも営業する専門拠点を新設、増設し、お客さまにとって利便性と専門性の高いサービスを拡大しております。

また、九州地銀初の証券子会社である西日本シティTIT証券では本店、天神、北九州、黒崎に続き、久留米支店と飯塚支店をオープンさせ、福岡県内全域でお客さまに資産運用の専門家がアドバイスする体制を整えるなど、グループ総合力を強化しております。

店舗につきましてもお客さまに

とって使いやすい「ユニバーサルデザイン」と、環境に配慮した「エコ」をコンセプトにリニューアルを進めており、平成23年度は南小倉支店、篠栗支店の新店舗をオープンしたほか、徳力支店、若松支店のリニューアルを予定しております。

## 地域との共栄

私どもは地域金融機関として、地域の活性化なくして地銀の将来なしとの認識に立ち、今後も地場産業の育成、環境への配慮、知的貢献、歴史・文化活動などに積極的に取り組むことにより、元気で豊かな地域社会づくりに貢献していきたいと考えております。

日本全体に閉塞感が漂うこの時代、私ども地域金融機関が率先してなにごとにも「元気よく」取り組んでいくことによって、地元九州からより多くのエネルギーを生み出し、震災からの復興に向けた我が国経済の牽引力となることを心から願っております。

西日本シティ銀行が目指す銀行像

国内トップレベルの  
サービスを地元で提供し、  
お客さまとともに栄える

九州No.1バンク

「国内トップレベルのサービス」

これまで、国際業務やソリューションといった専門的な分野で、地銀初、九州地銀初の先進的な取り組みを行ってきました。今後もこうした取り組みを継続し、また、全職員がそれぞれの持ち場で高いレベルを追求して、他の地銀との差別化を図ります。

「地元で提供」

地域の繁栄と当行の繁栄は不可分であるとの認識のもと、地元で、地元の立場に立ってサービスを提供し、メガバンク・外資系金融機関との差別化を図ります。

この2つの差別化戦略により、地域との一体的な成長を通じて「お客さまとともに栄える九州No.1バンク」を実現します。

目指す銀行像の実現に向け、  
中期経営計画「New Stage 2011 ~元気よく~」が  
平成 23 年 4 月からスタート。着実な実行を進めています。

計画策定に当たっては、まず現下の環境認識に基づき、当行が進むべき方向性を考えました。

環境認識

日本経済は  
不透明感・不確実性が  
増している。

● 労働人口の減少が見込まれ、日本の潜在成長力は低い。

潜在成長力＝資本・労働力・生産性をフル利用して得られるGDPの成長力

● 経済のグローバル化により、日本経済・地方経済は海外の経済情勢の影響を受ける。

● 財政再建の遅れと成長力の低さから、国の借金問題がさらに悪化し、金利リスクが高まる懸念される。

九州のポテンシャルは高い。

● 九州新幹線鹿児島ルートと全線開通と駅ビル「UR博多シティ」の開業により、さまざまな面で経済効果が見込まれる。

● 高い経済成長が期待されるアジアに近く、歴史的にも交流が深い。

● 東日本大震災からの復興は、日本全体で取り組むべき喫緊の課題。そのなかで、製造拠点・農業生産地等として九州が果たす役割は大きい。

今後の進むべき方向性

日本経済の不透明感・不確実性を踏まえると  
経営環境は今後も厳しい。

厳しい環境を乗り越え、国際化時代に対応していくには  
強靱な経営基盤の構築に取り組むべき。

強靱な経営基盤を構築するため

● 収益機会を  
拡大すると同時に、  
● コストを削減する  
必要がある。

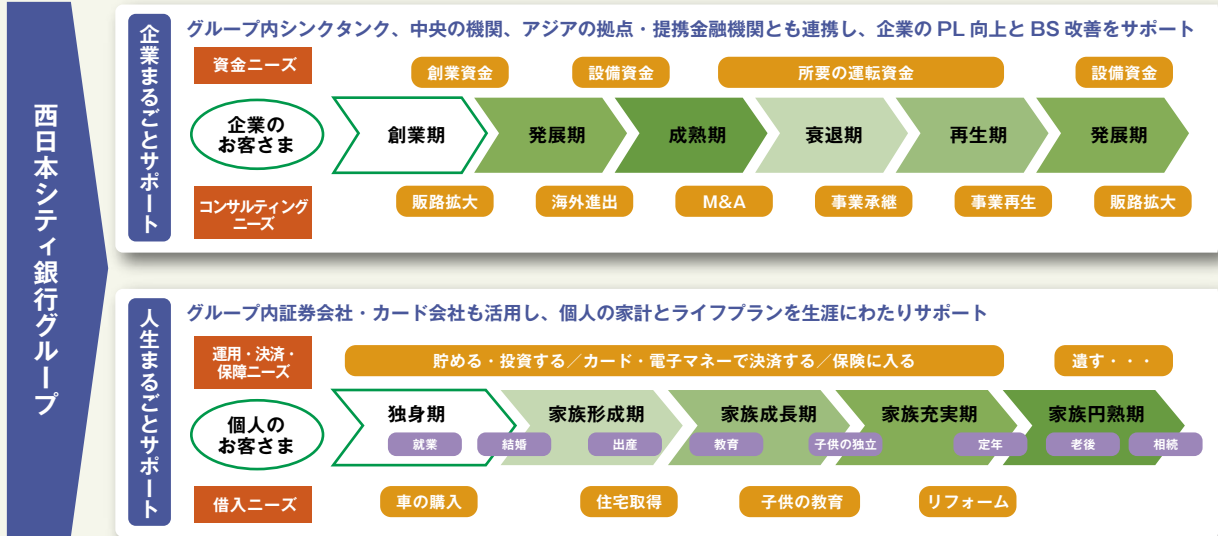
「収益機会の拡大」と「コスト削減」を同時に実現するために

● 経営陣の強力な  
リーダーシップのもと、  
ビジネスモデルを見直す。

進むべき方向性をベースとした計画のコンセプトは、「時代の変化に対応した『総合金融サービス業』への進化」と「徹底した生産性向上」の2つです。

### 時代の変化に対応した「総合金融サービス業」への進化

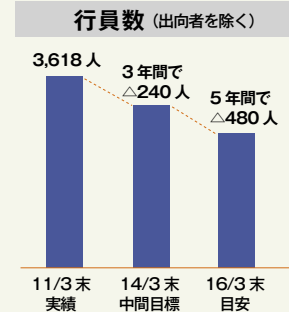
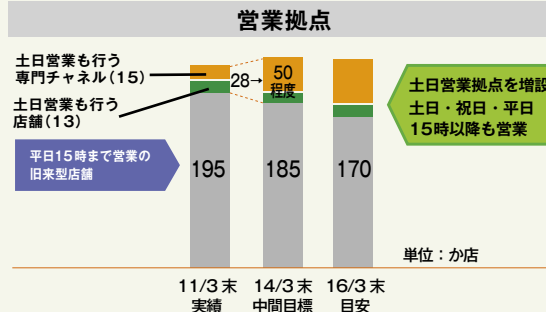
～お客様のライフステージから生じる様々なニーズに対し、お客さま目線に立った最適なサービスを提供～



### 徹底した生産性向上

～サービス向上と経営合理化の両立により生産性を改善し、強靱な経営基盤を構築～

土日営業拠点を増設しお客さまの利便性を高める一方で、旧来型店舗の統廃合を進め、生産性を向上させます。また、人員の効率化を進め、コスト削減を断行します。



「地域の活性化なくして地銀の将来なし」との認識に立ち、金融面以外からも地域の発展に貢献します。

- 地場産業育成**
  - 地元企業の成長分野への新規参入を側面から支援します。
  - 高齢化の進展により地元企業が直面する事業承継やM&A等に積極的に関与します。
  - 積極的な産官学連携を継続し、「学」の優れた技術・ノウハウを地場産業発展に取り込みます。
- 環境配慮**
  - 環境負荷軽減に取り組む企業を支援するとともに、当行自身も環境にやさしい業務運営を実践し、環境に配慮した取組みにおいて地銀トップレベルを目指します。
- 知的貢献**
  - 当行及び各界トップによる質の高い講演会や金融知識の普及活動など、地域社会と次世代を担う青少年等への知的貢献を継続します。
- 歴史・文化活動**
  - 地元根付く歴史・文化活動は地方銀行のインフラの一部と位置づけ、当行の特長である歴史・文化活動への取組みを継続し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

## 地元企業の発展のために



「九州新幹線全線開業記念商談会」の様子

平成23年6月、九州の魅力ある食材や雑貨を発掘する商談会を開催いたしました。本商談会は九州新幹線の全線開業を契機としたお取引先の販路拡大支援を目的に企画したもので、九州の金融機関10行のお取引先55社が参加されました。

商談会へは新博多駅ビル「JR博多シティ」で事業を展開するJR九州リテール、東急ハンズ、博多阪急のバイヤーをお招きし、お取引先に新たなビジネスチャンス創出の機会を提供いたしました。

また、同じく6月に九州新幹線沿線金融機関と連携して「インターナショナル福岡ギフト・ショー2011」において「鹿児島・熊本・福岡 食と逸品の特選フェスタ」を企画し、各地域の特産品等の商品展示を行いました。

開拓  
販路支援

「九州新幹線全線開業  
記念商談会」等の開催

平成23年7月、九州最大規模の医療・福祉機器の総合展示会「第11回アジアメデイカルショー」に金融機関として唯一ブースを出展し、今後の医療経営戦略についてのセミナーを開催、あわせて個別相談会も実施いたしました。期間中114名の方が来場されました。

経営  
医療  
支援  
「医療セミナーinアジア  
メディカルショー」の開催

平成23年6月、中堅・中小企業の経営戦略ならびに後継者問題のサポートを目的として、M&A支援1500件以上の実績を持つ株日本M&Aセンターとの共催で「M&Aセミナー&株価診断会」を開催いたしました。「後継者が語るM&A体験談」など実体験を交えた具体的な内容に当日約100名が参加されました。

また、8月には地場産業のみなさまに円滑な事業承継のノウハウをお伝えすることを目的として「NCB事業承継はじめてセミナー」を福岡・北九州・久留米の3会場で開催し、問題解決への入口として、事業承継対策の重要性を詳しくお伝えし、個別相談も実施いたしました。3会場で合計42名が参加されました。

戦略  
経営  
支援

M&A・事業承継  
セミナーの開催

平成23年10月、地域への知的貢献の一環として、西南学院大学との産学連携協定に基づき、同大学の学生を対象に開講されている「実践仕事塾」において、当行の久保田頭取が160名の学生に「地方銀行の特性と役割」についての講演を行いました。同大学の「実践仕事塾」においては、当行役職員が講師として「金融スペシャリスト養成講座」全6回のプログラムを担当してまいります。

連携  
産学  
支援  
西南学院大学「実践仕事塾」における久保田頭取講演会の開催

平成23年10月、西日本最大の環境見本市である「エコテック2011」とあわせて、地元企業と韓国・中国の環境関連企業とのビジネス交流を目的とした商談会を北九州市等との共催により開催いたしました。当日は環境関連企業で韓国・中国への自社製品の輸出や両国からの製品輸入を検討されている日本企業30社が参加され、商談件数は80件と活発な商談が行われました。

境内外  
環境  
支援

「アジア環境  
ビジネス商談会」の開催



九州の元気を  
応援しています



「志・情熱企業」

～中小企業応援テレビ番組～

技術力やノウハウ等を持つ特徴ある地元企業を紹介するテレビ番組を毎週土曜日に放映中です。  
当番組で紹介した企業は170社を超えました。

当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)からも番組内容をご覧いただけます。

## 地元企業の海外ビジネスを支援しています。

海外ネットワークを活用した  
海外ビジネスサポート

国際金融情勢の変化を先取りしたクロスボーダー決済や為替リスクヘッジ商品など、最先端の商品、サービスを地元の皆さまにご提供しております。また、上海、香港、ソウルの海外駐在員事務所や、当行から2名のトレイニーを派遣している中国銀行（BANK OF CHINA）、韓国の新韓銀行をはじめとする海外の提携金融機関（6行）などの海外ネットワークを活用して国内および海外における商談会の開催や海外ビジネスに役立つ多様な情報の提供を行い、地元企業の海外ビジネスをサポートしております。

国際部国際ビジネス支援室内に設置しております「グローバルビジネス・サポートセンター」では、海外ビジネスに関するご相談、外国為替取引サービスに関するお問い合わせなどを、さまざまから直接承っております。

海外ビジネスに関するご相談は

**グローバルビジネス・サポートセンター**  
TEL 092(476) 2560

【受付日】月～金曜日 祝日・銀行休業日は除きます【受付時間】9:00～17:00

先進の機能を身近にご提供  
「インターネット外国為替取引サービス」

法人事業者様向けの、外国為替商品・サービスが更に充実しました。

平成23年10月より、九州の地方銀行初となるインターネットを介した為替予約サービス「NCBダイレクト為替予約」の取扱いを開始しました。パソコンで簡単かつスピーディーに為替予約の締結や照会が行える他、海外市場の相場変動機会を逃さず捉えられるリブオーダー（指値注文）機能も備えた先進的なサービスです。為替予約の締結・残高情報を社内でも共有できることから、「情報共有に便利」「内部統制に役立つ」と好評を頂いております。



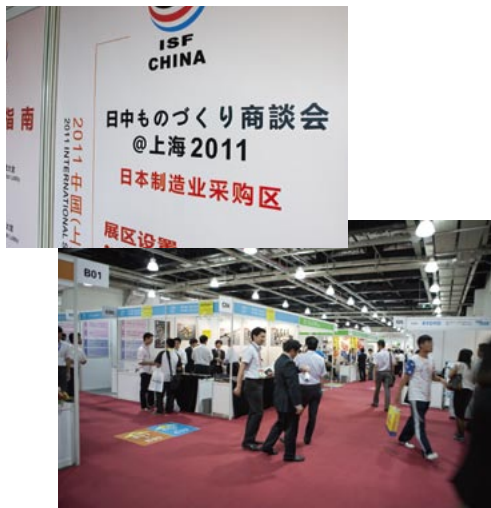
この他、中国向け米ドル建て送金の最速当日中の着金が可能なインターネット外国為替送金サービス「NCB外為スーパーダイレクト」の利便性を更に向上させました。

平成23年8月より、韓国の新韓銀行グループとの連携強化により韓国向けの送金機能を充実させ、ウォン建ての送金を可能にしました。従来円建て送金同様、ウォン建て送金も、最速当日中に韓国に到着します。

海外でのビジネスマッチングの  
機会を提供しています

平成23年9月、中国上海市において「日中ものづくり商談会@上海2011」を上海に拠点を置く金融機関等との共催により開催いたしました。中国での部品調達・販路拡大ニーズをお持ちの製造業の皆さまに、現地企業との商談の場を提供する商談会で、製造業界特化型の部品調達・拡販支援のイベントとしては中国最大規模のものです。出展企業数は469社、商談件数は約15000件にのぼり、活発な商談が交わされました。

平成23年5月には製造業が多く集積する中国江蘇省蘇州において、地方銀行等との共催により「チャイナビジネスセミナー&交流会 in 蘇州」を開催いたしました。蘇州市・上海市近郊に進出している製造業のお客さまを中心に77社が参加され、幅広いビジネス交流が行われました。





# 専門スタッフによる ライフプランサポート

お客さまのライフステージから生じる様々なお金に関するニーズに対し、  
お客さまの目線に立った最適なサービス提供を行うため、各営業店や  
専門拠点に専門スタッフを配置しています。

## 天神西通りの「西日本シティ銀行大名支店ビル」に専門拠点が集結

### 4F BCN ほけんプラザ

将来必要な資金に備える生命保険。ご結婚やご自宅購入などライフイベントに応じて見直しが必要です。専門スタッフがお客さまのお悩みや疑問に親身にお応えいたします。

TEL 0120-144-880

### 4F Alpha NCB α天神

資産運用のご相談にはお客さまのライフプランに合わせて専門のスタッフがご提案いたします。無料セミナーも実施しています。

TEL 092-771-9002

### 4F 年金相談所

年金の疑問・不安については、年金の専門家(社会保険労務士)がお客さまのご質問にわかりやすくお応えいたします。

<予約専用ダイヤル>  
TEL 0120-246-537

### 6F ローン営業室

マイホームやお車のご購入、お子さまの教育資金のご相談については、専門スタッフが適切なプランをご提案いたします。

TEL 092-734-9190



大名支店ビルは、西通りの西日本シティ銀行が目印、西鉄福岡天神駅より徒歩5分!

「住宅ローン」に「生命保険」、「資産運用」に「年金のお受取」まで、お金についての様々な疑問やお悩みは西日本シティの西通り大名支店ビルで解決。  
土日、平日15時以降も営業していますので、お気軽にご来店ください。





## 資産運用専門スタッフ

### 「マネーアドバイザー」

お客様のご相談をオーダーメイド

お客様が描かれる。これからのために、私たちにできること。

私たちは、お客さまひとりひとりのライフプランに関するさまざまなニーズにお応えできるよう、お客さまごとにオーダーメイドのプランをご提案し、その実現のお役に立ちたいと考えています。

当行では、各店にマネーアドバイザーやエリアを担当するチーフマネーアドバイザーを配置し、金融資産全般に関する具体的な運用のアドバイスやご提案をしています。

また、お客さまの相続、事業承継等のより幅広いご相談には、高度な専門知識を持つプライベートバンカーが、各店の担当者と共にライフプランに合わせたご提案をしています。



## 「NCBほけんプラザ」

銀行でほけんの話、しませんか？

お客さまのもしも・・・に備える生命保険。でも、「保障額は十分？」「保険料を払いすぎているのでは？」など様々なお悩みを抱えている方も多いかと思えます。

保険の専門相談窓口「NCBほけんプラザ」では、当行の専門スタッフが、お客さまの保険に関するご相談に中立的な立場でアドバイスし、最適な生命保険のご提案をいたします。

平日は19時まで、土日・祝日も17時まで営業いたしております。ご相談はもちろん無料です。キッズスペースもございますので、ご家族でお気軽にお立ち寄りください。



### NCB ほけんプラザ・天神

お問合せ ☎ 0120-144-880

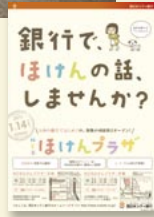
福岡市中央区天神 2-5-28 [NCB アルファ天神出張所内]

### NCB ほけんプラザ・宗像

お問合せ ☎ 0120-172-178

宗像市くりえいと 1-5-1 [赤間支店内]

営業時間◎平日 / 10:00～19:00 休日 / 10:00～17:00  
※ただし、12月31日～1月3日、5月3日～5月5日は除きます。



## 西日本シティ銀行 証券

お客さまの資産の運用ニーズにきめ細やかに応えます。

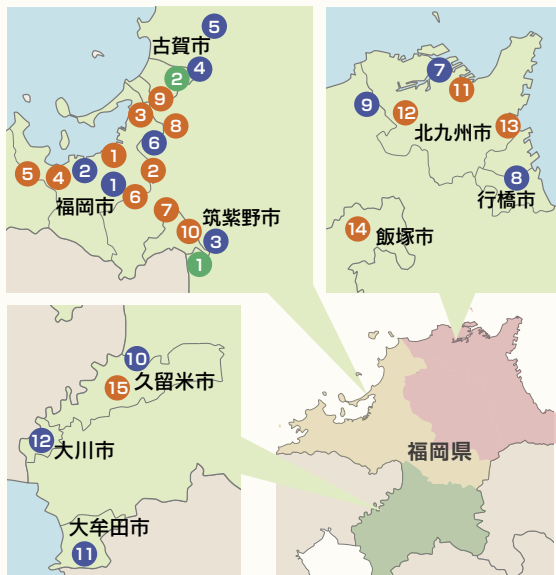
西日本シティ銀行の証券子会社として平成22年5月に開業。平成23年度には西日本シティ銀行の営業店内に共同店舗として久留米支店・飯塚支店を開設。計6ヶ店体制となり、福岡県内一円をカバーできる体制となりました。

これからも、お客さまに一番近く、選ばれる「証券会社」を目指してまいります。



## 土日もご相談いただけます

ローン営業室 NCBローンプラザ NCBいつでもプラザ



「土日ゆっくりローンの相談がしたいな。」  
 さまざまな生活スタイルのお客さまに土・日曜日も気軽にローンについてご相談いただける専門の相談窓口を福岡県下28箇所に設置しています。(ローン福岡営業室を除く)  
 ご自宅の新築・ご購入、ご返済中の住宅ローンのお借換などの住宅に関するローンをはじめ、お車のご購入やお子さまの教育資金に関するローンなどもお気軽にご相談下さい。  
 専門のスタッフが皆さまのお越しをお待ちしております。  
 なお、「NCBいつでもプラザ」ならローンの相談だけでなく、預金をはじめ資産運用の相談も承っております。  
 (※)営業時間、営業日については、下表をご覧ください。

週末もローンの相談にお越しく下さい  
 「ローン営業室・NCBローンプラザ」  
 「NCBいつでもプラザ」

**ローン営業室** ローンをご相談いただける専門拠点です。

- |                       |                          |                           |
|-----------------------|--------------------------|---------------------------|
| ① ローン天神営業室 (大名支店ビル6F) | ⑥ ローン福岡南営業室 (老司支店内)      | ⑪ ローン北九州営業室 (小倉支店内)       |
| ② ローン福岡営業室 (福岡支店内)    | ⑦ ローン春日営業室 (春日出張所内)      | ⑫ ローン北九州西営業室 (折尾支店2F)     |
| ③ ローン香椎営業室 (千早支店内)    | ⑧ ローン粕屋営業室 (粕屋支店2F)      | ⑬ ローン北九州東営業室 (下曽根駅前出張所内)  |
| ④ ローン姪浜営業室 (姪浜駅前支店3F) | ⑨ ローン新宮営業室 (新宮支店2F)      | ⑭ ローン飯塚営業室 (穂波支店内)        |
| ⑤ ローン前原営業室 (前原支店2F)   | ⑩ ローン二日市営業室 (西鉄二日市駅前支店内) | ⑮ ローン久留米営業室 (久留米センター出張所内) |

【営業時間等】  
 平日9:00～17:00 土日10:00～17:00/休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、祝日(但し祝日が土・日曜日の場合は営業)、振替休日※ローン福岡営業室…土日・祝日は休業

**NCBローンプラザ** お客さまのご自宅近くのローン専門相談窓口です。

- ① NCBローンプラザ・美しが丘 (美しが丘出張所内) ② NCBローンプラザ・古賀 (イオンスーパーセンター古賀店出張所内)  
 【営業時間等】美しが丘 平日9:00～17:00 土・日曜日10:00～18:00 古賀 平日10:00～18:00 土・日曜日10:00～17:00  
 休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、祝日(但し祝日が土・日曜日の場合は営業)、振替休日

**NCBいつでもプラザ** ショッピングセンターの中にある、土日・祝日、平日15時以降もご相談・お申し込みができる窓口です。

- |                      |                       |               |
|----------------------|-----------------------|---------------|
| ① 田島支店 (ダイエー笹丘店内)    | ⑤ 赤間支店 (サンリブくりえいと宗像内) | ⑨ ゆめタウン遠賀出張所  |
| ② ショッピングモールマリナタウン出張所 | ⑥ イオン福岡東出張所           | ⑩ ゆめタウン久留米出張所 |
| ③ ゆめタウン筑紫野出張所        | ⑦ イオン戸畑出張所            | ⑪ ゆめタウン大牟田出張所 |
| ④ イオンスーパーセンター古賀店出張所  | ⑧ ゆめタウン行橋出張所          | ⑫ ゆめタウン大川出張所  |

【営業時間等】  
 平日10:00～20:00 土日・祝日10:00～17:00/休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、ショッピングセンター店休日  
 ※田島支店、赤間支店…平日は9:00より ゆめタウン遠賀出張所…平日は18:00まで



ローンコールデスク ☎ 0120-714-919

【受付時間】平日9:00～20:00 土・日曜日10:00～17:00  
 【休業日】12/31～1/3、5/3～5/5、祝日・振替休日

「ローンコールデスク」はローンのお問い合わせ、ご相談、お申込み等を専門に受け付ける電話窓口です。  
 これまで平日のみの営業としていましたが、平成23年5月より土日にも拡大しました。  
 窓口へお越しになる機会の少ないお客さまやローン商品に関するお問い合わせ、ご相談など、お気軽にお電話下さい。  
 専門のオペレーターが皆さまのお電話をお待ちしております。

お電話でのご相談も  
 おまかせください。  
 「ローンコールデスク」

## 便利にご利用いただけます

小さなローンもお気軽に  
「NCB キャッシュユエース」

当行では、住宅ローンやマイカーローンなどの「大きなローン」だけでなく、「日々のちよつと足りない」を応援する「小さなローン」もお取扱しております。

例えば、急な出費が必要なおときに役立っていただける「NCB キャッシュユエース」。年会費・入金金はもちろん無料です。専業主婦やパート・アルバイトの方も、お気軽にお申込みいただけます。

お申込方法も簡単です。電話やインターネットの他、お近くのATMからもお申込みが可能です。

また、お忙しい方は、来店せずに郵送でのお申込みもOKです。（当行に普通預金口座をお持ちでカードローン契約のない方のみ）

改正貸金業法の完全施行（平成22年6月）を踏まえ、「小さなローン」のニーズに地域金融機関として積極的に取り組んでまいります。



ATM時間外利用手数料がおトクに  
「オールインワンカード」

「キャッシュカード・クレジットカード・ローンカード」の3つの機能が1つになった「オールインワンカード」。

お手持ちのキャッシュカードからお切替えていただくと、ATMの時間外利用手数料が、1年間無料（当行・ローン・福岡県内の一部のファミリーマートのATMが対象）になるのはご存知ですか？

2年目以降もNCBポイントサービスの「お取引ポイントに応じてATM時間外利用手数料がおトクになります。（ステージ2の場合、平日のみ無料、ステージ3の場合いつでも無料）」

気になる年会費も、初年度は無料※となっております。2年目以降も携帯電話、もしくは電気料金をオールインワンのクレジットカード機能で決済いただくか、クレジットカードを年間10万円以上ご利用いただければ、無料となります。（ただし、ゴールドカードは除きます。）



（※）ベーシックカードの年会費は通常1,312円（消費税等込）です。

インターネットバンキングサービスが  
ますますグレードアップ！  
「NCBダイレクト」

「仕事や家事で忙しくて、銀行に行く時間がない！」そんなお客さまにご利用いただきたいのがダイレクトバンキングサービス「NCBダイレクト」。

なかでも、インターネットバンキングなら、残高のご確認やネットショッピングの決済、お届け住所の変更が自宅パソコンの「カーンタン操作」でお取引できて、とっても便利です。

さらに、当行本支店間のお振り込みや住宅ローンの金利変更・繰上返済も『手数料無料』でお取引できて、とってもお得です。

また、通帳を発行しないWeb口座「ネットスタイル」や投資信託の各種報告書を電子化し、ネット上で閲覧ができる「N e投プレミアム」の取扱いをしています。是非一度お試しください。

（注）ご利用には事前のお申込が必要です。個人のお客さまでも事業性のお取引についてご利用はできません。



お客さまのライフスタイルに  
合わせてご利用いただけます  
「便利なATMサービス」

当行のATMコーナーは、お客さまのライフスタイルに合わせて、最長稼働時間を平日は早朝7時から深夜23時まで、土日・祝日は朝8時から夜21時までとしています。

また、ATMは、営業店202か店の店舗内に927台、店舗外に316か所453台設置（コンビニATMを除く、平成23年10月末現在）しています。さらには、九州内の地方銀行9行および第二地方銀行8行（※1）とATM利用手数料を相互無料開放しており、他行のATM/CDにおいて、お手持ちの当行キャッシュカードによるご出金利用手数料が無料（※2）となっております。

なお、各ATMの設置場所・稼働時間につきましては、当行ホームページ「店舗/ATMナビ」をご参照いただくか、各営業店にお問い合わせください。



（※1）地方銀行9行…福岡銀行、筑邦銀行、佐賀銀行、大分銀行、十八銀行、親和銀行、肥後銀行、宮崎銀行、鹿児島銀行、第二地方銀行8行…長崎銀行、福岡中央銀行、佐賀共栄銀行、熊本ファミリー銀行、豊和銀行、宮崎太陽銀行、南日本銀行、沖縄海邦銀行  
（※2）平日8時45分～18時00分の時間帯のみ無料となります。

## 安心に向けて取り組んでいます

### 金融犯罪にご注意ください！

銀行員や警察官を装い「キャッシュカードが偽造されている」「あなたの口座が犯罪に利用されている」などとお客さまの不安を煽つて、言葉巧みに暗証番号を聞き出し、キャッシュカードを騙し取つて出金する犯罪が発生しています。

当行行員や警察官が、電話や店舗外で暗証番号をお尋ねしたり、キャッシュカードをお預かりすることはありません。

したがって、外部からの照会に対して暗証番号を回答したり、キャッシュカードを渡すことのないよう十分ご注意ください。

### 反社会的勢力への対応について

当行は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係遮断に向けた取り組みを行っています。政府が策定した「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」（平成19年6月19日犯罪対策閣僚会議幹事会申合せ）等を踏まえて、融資取引の約定書や普通預金規定等の各種規定を改定し、暴力団等の反社会的勢力を排除する条項（「暴力団排除条項」）を導入しています。

「金融犯罪被害に関する相談窓口」 ☎ **0120-797-919** へ【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

### 金融円滑化への取り組み

当行は、平成21年12月に施行された「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」（中小企業金融円滑化法）の趣旨を踏まえ、中小企業のお客さまの事業活動の円滑な遂行、ならびに住宅ローンご利用のお客さまの生活の安定を目的として、金融円滑化に取り組んでおります。

今後につきましても、当行が持つ情報機能やネットワーク、ソリューション支援専門スタッフ等を活用したお客様へのコンサルティング機能（経営相談・経営支援・営業支援等）を積極的に発揮することにより、お客さまの主體的な経営改善、事業再生等への取り組みをお客さまの立場に立つて真摯にサポートし、金融機関としての社会的責任を果たしてまいります。

### 金融円滑化相談窓口

最寄りの窓口でお気軽ににご相談いただけるよう、すべての営業店のご融資窓口及びビジネスサポートセンター、ローン営業室においてご相談・お申込みを承っております。

### 苦情等のご相談窓口

当行は、お客さまからのご意見や苦情には真摯な姿勢で公正・迅速に対応するとともに、お客さまのご理解と信頼を得られるよう努めてまいります。

お客さまからのご意見・苦情は、営業店および次のお問い合わせ窓口までお申し出ください。

## 西日本シティ銀行お客様サービス室

☎ **0120-162-105**

または

FAX **092-461-1916** (24時間)

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

西日本シティ銀行の本支店窓口

### 金融ADR制度について

平成22年10月1日より金融ADR制度が開始されました。

金融ADR制度とは、金融分野における裁判外紛争解決手続（※）のことで、お客さまが、金融機関との間で十分に話し合いをしても問題の解決がつかないような場合に活用いただける制度です。

国の指定を受けて中立性を確保した指定紛争解決機関が、お客さまや金融機関からの申出を受け、苦情やトラブルの解決を図ります。

当行は、「一般社団法人全国銀行協会」と「一般社団法人信託協会」との間で、紛争解決等業務に関する「手続実施基本契約」を締結しています。

（※）裁判外紛争解決手続（Alternative Dispute Resolution）とは、身の回り（起）るトラブルを、裁判ではなく中立・公正な第三者に関わってもらいながら柔軟な解決を図る手続です。

#### 全国銀行協会 相談室

TEL **0570-017109**

または

TEL **03-5252-3772**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

#### 信託協会 信託相談所

☎ **0120-817335**

または

TEL **03-3241-7335**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:15（祝日および銀行休業日は除きます）

## 新しい店舗に「ユニバーサルデザイン・バリアフリー設備」 「エコ設備」を積極的に取り入れています



当行の新しい店舗は、地域の皆さまに親しまれる店舗を目指しています。全てのお客さまがご利用しやすいように、自動ドアや段差のない出入り口、点字ブロック、多目的トイレ、エレベーター、座ったまま利用できる記帳台などの「ユニバーサルデザイン・バリアフリー設備」や、地球環境に配慮した太陽光発電システムやLED照明、エコガラス、雨水再利用などの「エコ設備」を積極的に取り入れています。

平成23年度は南小倉支店と篠栗支店の新築建替を10月に実施し、今後徳力支店と若松支店を予定しております。引き続き「お客さま目線」での店舗づくりに取り組んでまいります。

【新店舗の主な機能】

エコ設備				ユニバーサルデザイン・バリアフリー機能					
太陽光発電	LED照明	エコガラス	雨水再利用	自動ドア	段差のない出入口	点字ブロック	多目的トイレ	エレベーター	座ったまま利用できる記帳台



3

その他、窓口振込手数料の優遇や代筆・代読のご対応を実施しております。詳しくは、お気軽に取引店窓口にお問い合わせください。

2

### 点字文書の無料郵送サービス

取引店窓口へ直接又は電話でのお申込みにより、左記の取引明細等を点字で作成し、ご自宅宛に送付するサービスを実施しています。

※対象取引・普通預金・貯蓄預金取引明細の通知（1カ月単位で送付）定期預金満期の通知（満期日到来の都度送付）

1

### 視覚障がい者対応（受話器型操作機付）ATMの増設

全ての営業店に1台以上の設置が完了し、店外ATMコーナーと併せ463台となりました。（平成23年9月末現在）今後も順次増設を行い、一層の利便性向上に努めてまいります。



※視覚障がい者対応 ATM  
原則各 ATM コーナーの左端に設置しています

当行では、視覚障がいをお持ちのお客さまにも安心してご利用いただけるよう、以下のような取組みを行っております。

視覚障がいをお持ちの  
お客さまに配慮した取組み



### アジア映画鑑賞会中学生招待

平成23年9月、当行と関連財団である西日本国際財団の共催により「アジア映画中学生鑑賞会」を開催しました。アジアとの架け橋を担う次世代の中学生たちに、アジアの国で制作された教育的・文化的価値の高い映画作品の鑑賞を通して、アジアへの理解を深めてもらうことを目的に、今回は家族の絆をテーマにしたタイ映画「小さなリトル・コメディアン」を上映しました。



### 明日を担う子供たちのために「お金のがっこう」開校

平成23年8月、「第5回キッズ・サマー・キャンプ～お金のがっこう～」を小学5・6年生を対象に行い、貸金庫やコールセンターなどの施設見学や窓口体験、また、お金や銀行の役割についてのクイズで、楽しく学習してもらいました。

お金の大切さや仕事を通じた社会とのつながりを知ってもらうことで、子どもたちの夢の実現につながることを願っています。

## 地域のみなさまの“学び”をお手伝い



### 緊急トップセミナー 「混迷する世界経済と震災復興の日本、九州～その現状と課題～」開催

平成23年9月、当行とNCBリサーチ&コンサルティング主催で「緊急トップセミナー」を開催しました。時々刻々と社会が変化中、地域の皆さまに、経営に役立つタイムリーな経済・金融についての情報をいち早くお届けする機会を提供しました。



### 地域の歴史や文化を取り上げて、 わかりやすく紹介 「九州流」 「博多に強くなろう・北九州に強くなろう」

地元の歴史や文化を地域に広めることで、地域の活性化に貢献したいと願い、2種類の広報誌を発行しています。

「九州流」は、九州の歴史・文化・アジアとの交流をテーマに、国際レベルの視点から地域の情報を掘り起こして発信する“ふるさと発見誌”として、平成21年に創刊しました。「博多に強くなろう・北九州に強くなろう」は、地元の身近な話題やゆかりの人物などを取り上げてわかりやすく紹介する刊行物として昭和54年より発行し、現在95号に至りました。

アジアとの絆を深め、  
実りある国際交流を  
支援しています

【財団法人 西日本国際財団】

アジア諸国を中心とした国際交流を推進することにより、国際相互理解の促進及び国際的人材の育成をはかり、国際親善の推進に寄与することを目的として、さまざまな事業活動を行っています。

また、九州沖縄・山口地域を対象に、草の根活動を通じてアジアの発展及びアジアとの国際交流に貢献した団体・個人を表彰する「アジア貢献賞」、国際相互理解と国際友好親善の促進に貢献している小学校・中学校及び地域子ども団体を表彰する「アジアKids大賞」を設け、実りある国際交流を支援しています。



皆さまに愛され25年間  
お昼休みのミニコンサートは  
300回を超えました

【財団法人 福岡文化財団】

毎月1回、本店エントランスホールで開催する「プロムナードコンサート」。皆さまに愛され平成23年11月で311回を迎えています。

また、福岡市内の小学校で本物のクラシック音楽演奏や大道芸パフォーマンスを披露する「ふれあいライブ」は、子供たち大変喜ばれています。

クラシックをもっと身近に、そして子供たちにとって楽しい時間になるように、ひとつひとつのライブをていねいに企画しています。

他にも、美術、音楽、演劇等芸術を通して、文化の向上を図り、より豊かな地域社会づくりに貢献する活動を行っています。



地域の優れた経営者を  
表彰しています

【財団法人 九州・山口地域  
経済貢献者顕彰財団】

九州・山口地域において、地域経済の発展や産業の開発に優れた実績をあげられた中堅・中小企業の経営者の方々を毎年表彰し、「経営者賞」を授与しています。

昭和47年の財団設立以来、表彰は38回を数え、受賞者は145名となりました。

受賞者が経営する企業のうち、上場または店頭公開を果たされる企業も多数あります。

「経営者賞」が経営者の方々の励みとなり、地域経済の発展に少しでも寄与できれば幸いです。



東日本大震災義援金の寄付・  
募金の取扱い

当行では、銀行本体ならびに役員で義援金の寄付や救済物資による支援を行うとともに、全店の窓口で「西日本シティ銀行ユニセフ東日本大震災緊急募金」の受付を開始し、10月31日までにお振込みいただいた募金は、52,475,854円となりました。

多くの皆さまからの善意をいただき、本当にありがとうございます。引き続き募金を受付けておりますのでご協力をよろしく願います。  
(寄付先：公益財団法人日本ユニセフ協会)



コタエがある。

ミニディスクロージャー誌

業績・財務データ

平成 23年 9月期

(平成 23年 4月 1日～平成 23年 9月 30日)



ココロがある。コタエがある。  
西日本シティ銀行





## CONTENTS

### コタエがある。SIDE

店舗網・海外ネットワークのご案内	①
平成23年9月期業績ハイライト	②
株式の状況	⑤
平成23年9月期中間財務諸表	⑥

## プロフィール

商号	株式会社西日本シティ銀行
設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
資本金	857億円
店舗数	206か店
従業員数	3,886名
総資産	7兆1,746億円
預金・譲渡性預金残高	6兆4,979億円
貸出金残高	5兆797億円

(平成23年9月30日現在)

※計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

平成23年12月発行 株式会社西日本シティ銀行 広報文化部 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号 TEL 092-476-1111 (代表) ホームページ ▶<http://www.ncbank.co.jp>

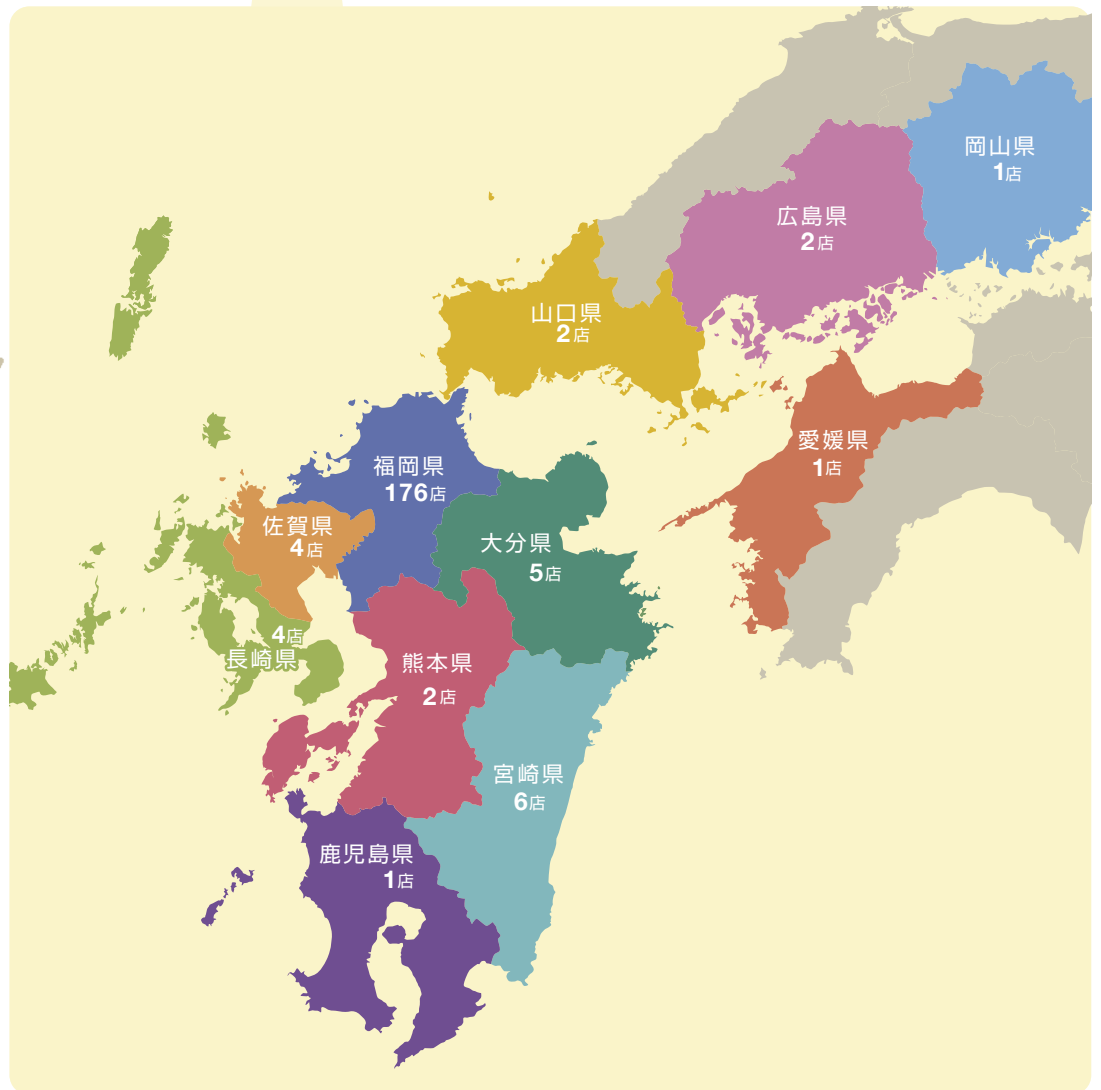


●店舗数	206か店
●海外駐在員事務所	3か所

ATM/2,101台  
 店内927台  
 店外1,174台  
 うちコンビニATM 721台  
 ●ローソン653台  
 ●ファミリーマート68台

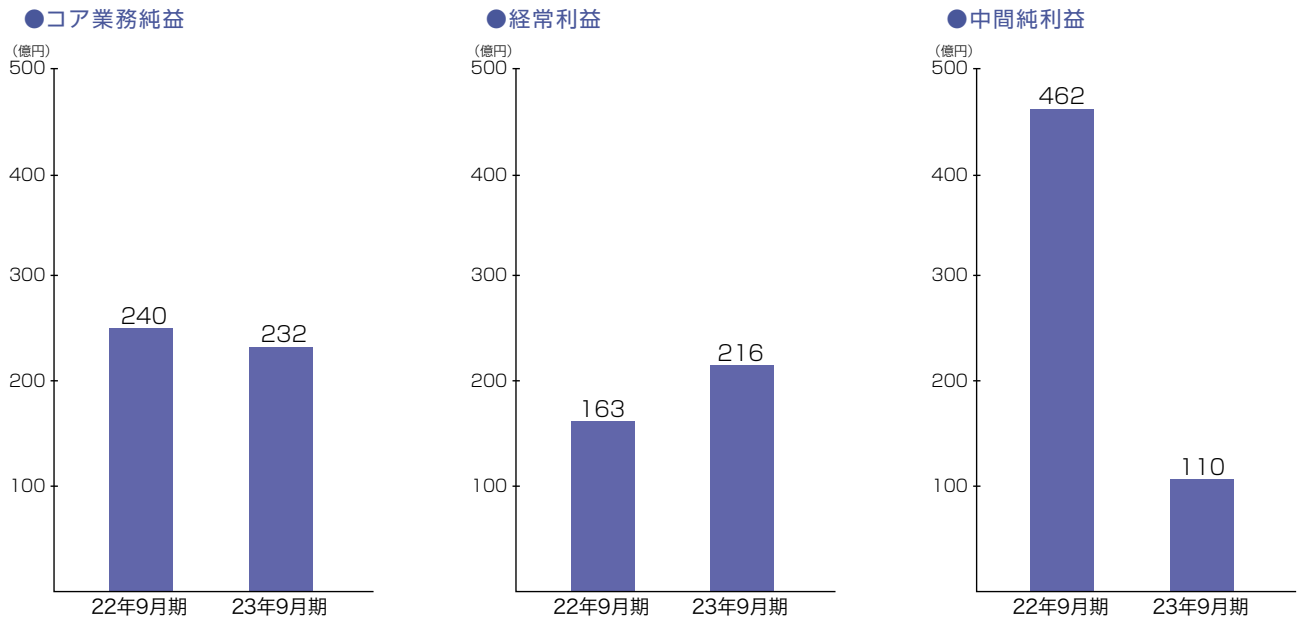
**提携金融機関**

- リソナブルダニア銀行 (インドネシア)平成8年提携
- 中国銀行(中国)平成13年提携
- 日本政策金融公庫(日本)平成13年提携
- 新韓銀行(韓国)平成19年提携
- OCB(ベトナム)平成20年提携
- BNPパリバ(ベトナム)平成20年提携
- バンコック銀行(タイ)平成21年提携



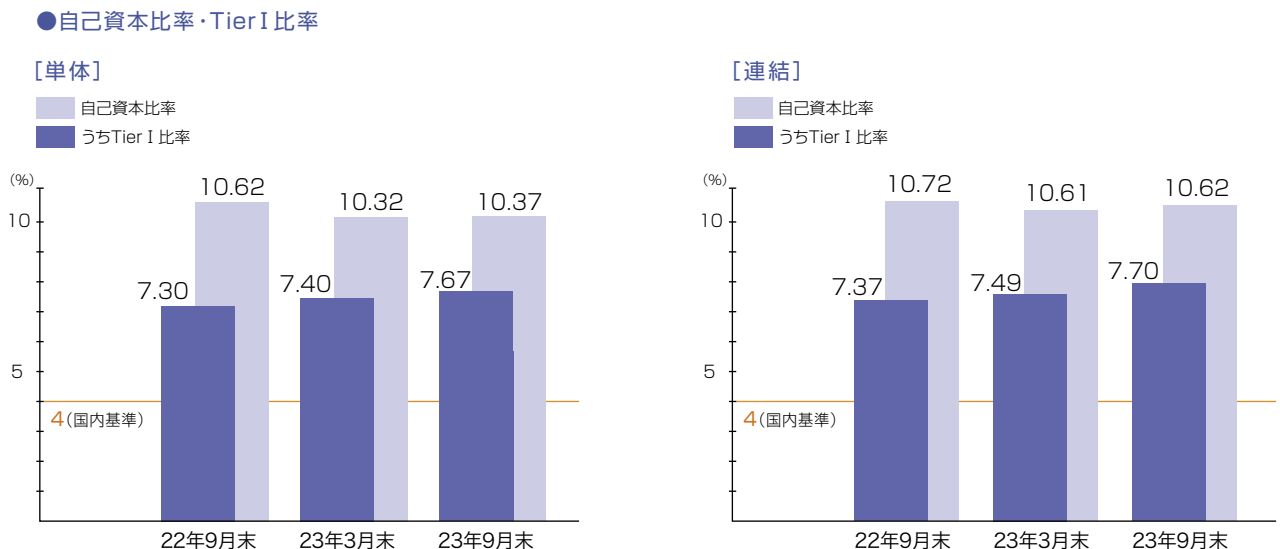
## 損益の状況 (単体)

役務取引等利益は増加しましたが、貸出金等の運用利回りの低下による資金利益の減少により平成23年9月期のコア業務純益は232億円になりました。また、不良債権処理損失の減少を主因に経常利益は216億円となり、その結果、中間純利益は110億円となりました。



## 自己資本比率の状況

平成23年9月末の自己資本比率は、単体で10.37%、連結で10.62%となりました。また、中核的自己資本であるTier I比率は、単体で7.67%、連結で7.70%となりました。今後も資本の充実を図り、自己資本比率の向上に努めてまいります。



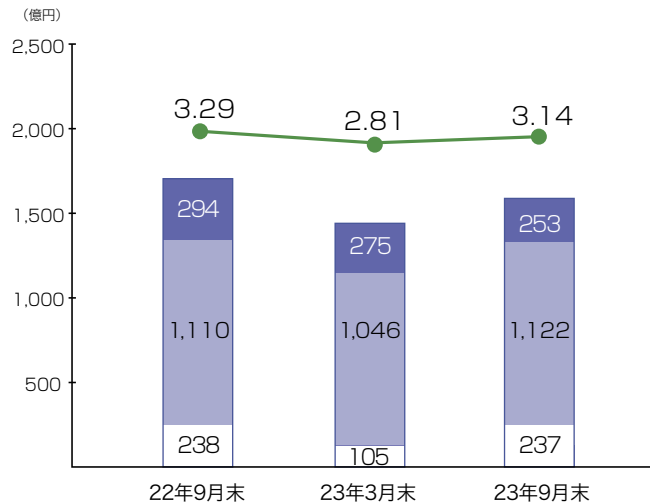
## 不良債権の状況(単体)

平成23年9月末の金融再生法に基づく開示債権の残高は、資産の自己査定基準に基づき、償却・引当を実施した結果、平成23年3月末比185億円増加し、1,613億円、開示債権比率は3.14%となりました。

(注) 平成23年3月末までは当中間期中に清算した分割子会社(NCBターンアラウンド株式会社)の計数を含めております。

### ●不良債権比率

■ 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 ■ 危険債権 □ 要管理債権 ● 金融再生法開示債権比率(%)



### 用語説明

#### コア業務純益

預貸金業務などによる“資金利益”や投資信託等の販売手数料などの“役務取引等利益”などを含む“業務粗利益”から“経費”を差し引いたもので、銀行本来業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。

$$\text{コア業務純益} = \text{業務粗利益(除く国債等債券損益)} - \text{経費}$$

#### 自己資本比率

銀行の健全性を示す指標のひとつです。  
国内基準で4%以上を維持することが求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本(資本金など)}}{\text{リスク度合を考慮した資産}}$$

#### Tier I 比率

自己資本のうち資本金・資本剰余金・利益剰余金などの基本的項目をもとに算出される自己資本比率です。

### 用語説明 ~金融再生法による開示債権の定義~

#### 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

#### 危険債権

債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権

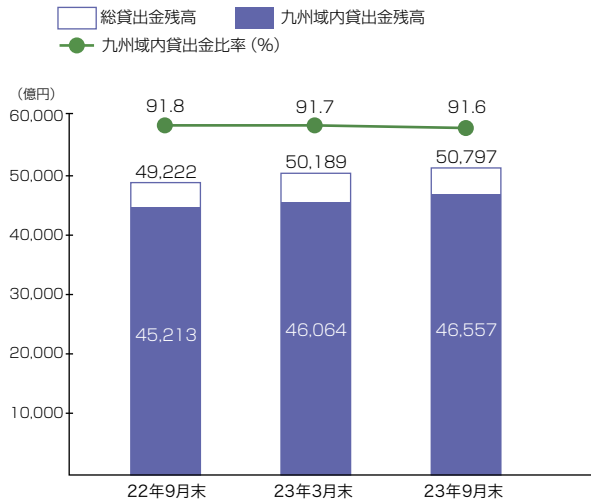
#### 要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

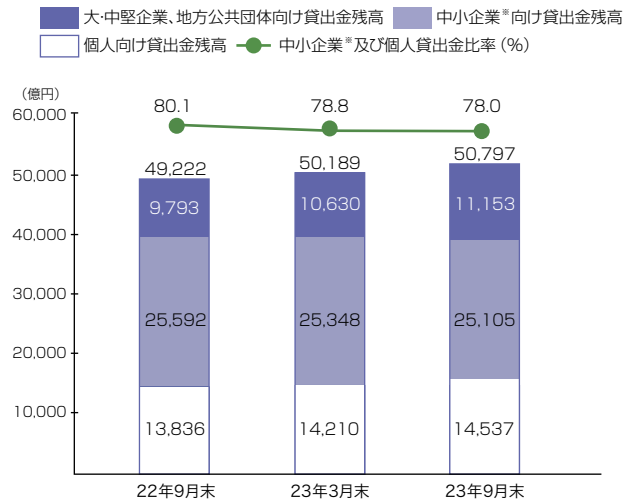
## 貸出金の状況

平成23年9月末の総貸出金のうち、九州域内での貸出金の比率が91.6%、また、中小企業\*及び個人への貸出金の比率が78.0%と九州の特に中小企業・個人のお客さまを中心とした様々な資金ニーズにお応えしております。

● 貸出金と地域の内訳



● 貸出金と対象先の内訳



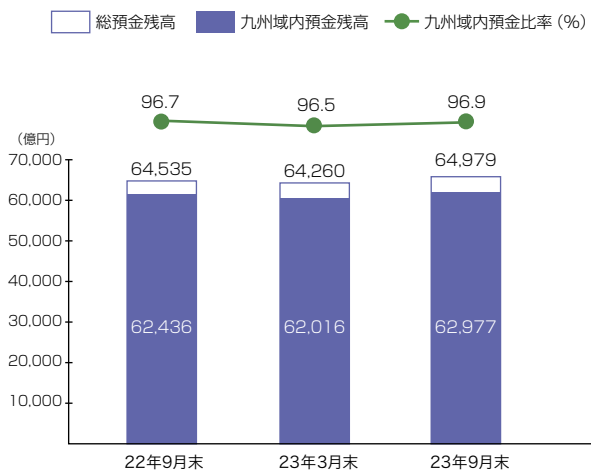
\*中小企業…資本金3億円(但し、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(但し、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社及び個人事業主

(注)平成23年3月末までは当中間期中に清算した分割子会社(NCBターンアラウンド株式会社)の計数を含めております。

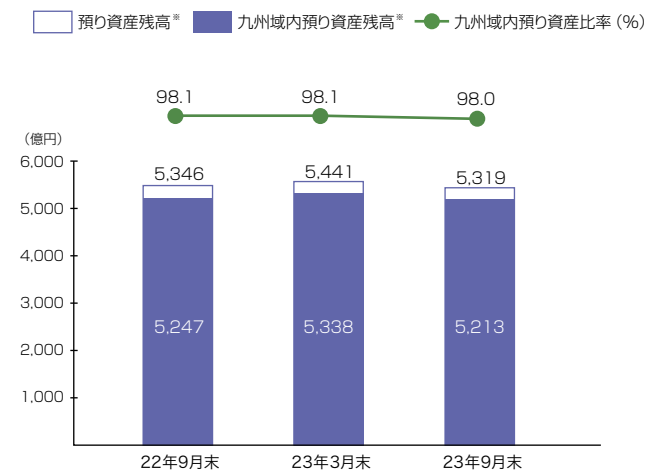
## 預金・預り資産の状況

平成23年9月末の譲渡性預金を含む預金残高のうち、九州域内での預金の比率が96.9%、預り資産(投資信託・個人年金保険)のうち九州域内での預り資産の比率が98.0%となっており、九州地域の皆さまから多くのご資産をお預りするとともに、皆さまの多様なニーズにお応えするため、商品・サービスの充実を図っております。

● 預金(譲渡性預金を含む)と地域の内訳



● 預り資産(投資信託・個人年金保険)と地域の内訳



\*預り資産残高 = 投資信託残高 + 個人年金保険販売累計額

## 株式の状況

発行可能株式総数	普通株式	1,500,000,000株
平成23年9月30日の発行済株式の総数	普通株式	796,732,552株
平成23年9月30日の株主数	普通株式	21,666名

## 大株主（普通株式）

(平成23年9月30日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	98,234	12.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	46,199	5.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	29,965	3.76
日本生命保険相互会社	20,477	2.57
東京海上日動火災保険株式会社	12,251	1.53
株式会社みずほコーポレート銀行	11,507	1.44
株式会社りそな銀行	11,000	1.38
明治安田生命保険相互会社	10,945	1.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	10,798	1.35
株式会社三井住友銀行	10,748	1.34

(注) 1.所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。2.持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 株式のご案内

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 定時株主総会** 6月に開催いたします。
- 配当金の  
お支払いについて**

**期末配当金**  
3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。

**中間配当金**  
取締役会の決議によって中間配当を行う場合は、9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。  
配当金のお受取りには、当行の預金口座への振込をご利用いただけますと、速くて便利です。
- 基準日** 定時株主総会については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 公告方法** 電子公告による公告とし、当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、西日本新聞と日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人  
特別口座の  
口座管理機関**

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

(1) **事務取扱場所** 福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店  
電話：福岡(092)741-0284

(2) **お問合せ先** 〒137-8650  
東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部  
☎0120-707-843(フリーダイヤル)

(ご注意) 株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

## 中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (平成23年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	181,543	預 金	6,532,990
コールローン及び買入手形	5,815	譲 渡 性 預 金	161,991
買入金銭債権	25,683	コールマネー及び売渡手形	54,429
特定取引資産	1,182	債券貸借取引受入担保金	46,533
金銭の信託	2,983	借 用 金	55,879
有価証券	1,681,404	外 国 為 替	77
貸 出 金	5,291,561	社 債	78,300
外国為替	3,435	信 託 勘 定 借	2
その他資産	49,389	そ の 他 負 債	54,043
有形固定資産	120,758	退 職 給 付 引 当 金	10,894
無形固定資産	4,315	役員退職慰労引当金	147
繰延税金資産	56,087	睡眠預金払戻損失引当金	2,690
支払承諾見返	58,921	偶発損失引当金	2,635
貸倒引当金	△ 39,172	特別法上の引当金	0
投資損失引当金	△ 1,027	再評価に係る繰延税金負債	22,357
		支 払 承 諾	58,921
		<b>負債の部合計</b>	<b>7,081,895</b>
		<b>純資産の部</b>	
		資 本 金	85,745
		資 本 剰 余 金	90,301
		利 益 剰 余 金	124,077
		自 己 株 式	△ 664
		(株主資本合計)	(299,459)
		その他有価証券評価差額金	5,585
		繰延ヘッジ損益	0
		土地再評価差額金	28,082
		(その他の包括利益累計額合計)	(33,668)
		少 数 株 主 持 分	27,859
		<b>純資産の部合計</b>	<b>360,987</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>7,442,882</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>7,442,882</b>

中間連結損益計算書 (平成23年4月1日~平成23年9月30日)

(単位：百万円)

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>85,080</b>
資金運用収益	61,441
(うち貸出金利息)	(51,383)
(うち有価証券利息配当金)	(9,626)
信託報酬	3
役務取引等収益	15,276
特定取引収益	89
その他業務収益	1,519
その他経常収益	6,749
<b>経常費用</b>	<b>60,869</b>
資金調達費用	5,021
(うち預金利息)	(3,395)
役務取引等費用	4,703
その他業務費用	207
営業経費	42,778
その他経常費用	8,158
<b>経常利益</b>	<b>24,211</b>
特別利益	146
特別損失	452
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>23,905</b>
法人税、住民税及び事業税	856
法人税等調整額	10,196
法人税等合計	11,053
<b>少数株主損益調整前中間純利益</b>	<b>12,851</b>
少数株主利益	1,008
<b>中間純利益</b>	<b>11,842</b>

中間連結株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日~平成23年9月30日) (単位：百万円)

科目	金額
<b>株主資本</b>	
<b>資本金</b>	
当期首残高	85,745
当中間期変動額	—
当中間期末残高	<b>85,745</b>
<b>資本剰余金</b>	
当期首残高	90,301
当中間期変動額	—
当中間期末残高	<b>90,301</b>
<b>利益剰余金</b>	
当期首残高	116,300
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△3,975
中間純利益	11,842
自己株式の処分	△3
土地再評価差額金の取崩	△93
持分変動に伴う利益剰余金の増加	6
当中間期末残高	7,776
<b>当中間期末残高</b>	<b>124,077</b>
<b>自己株式</b>	
当期首残高	△661
当中間期変動額	—
自己株式の取得	△12
自己株式の処分	8
当中間期末残高	△3
<b>当中間期末残高</b>	<b>△664</b>
<b>株主資本合計</b>	
当期首残高	291,686
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△3,975
中間純利益	11,842
自己株式の取得	△12
自己株式の処分	4
土地再評価差額金の取崩	△93
持分変動に伴う利益剰余金の増加	6
当中間期末残高	7,772
<b>当中間期末残高</b>	<b>299,459</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>	
その他有価証券評価差額金	—
当期首残高	3,408
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	2,177
当中間期末残高	2,177
<b>当中間期末残高</b>	<b>5,585</b>
<b>繰延ヘッジ損益</b>	
当期首残高	△0
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	0
当中間期末残高	0
<b>当中間期末残高</b>	<b>0</b>
<b>土地再評価差額金</b>	
当期首残高	27,989
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	93
当中間期末残高	93
<b>当中間期末残高</b>	<b>28,082</b>
<b>為替換算調整勘定</b>	
当期首残高	△0
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	0
当中間期末残高	0
<b>当中間期末残高</b>	<b>—</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	
当期首残高	31,396
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	2,272
当中間期末残高	2,272
<b>当中間期末残高</b>	<b>33,668</b>
<b>少数株主持分</b>	
当期首残高	28,397
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△538
当中間期末残高	△538
<b>当中間期末残高</b>	<b>27,859</b>
<b>純資産合計</b>	
当期首残高	351,480
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△3,975
中間純利益	11,842
自己株式の取得	△12
自己株式の処分	4
土地再評価差額金の取崩	△93
持分変動に伴う利益剰余金の増加	6
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	1,734
当中間期末残高	9,506
<b>当中間期末残高</b>	<b>360,987</b>

# 中間財務諸表

中間貸借対照表 (平成23年9月30日現在)

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	170,928	預渡性預金	6,324,599
コールローン	5,815	コールマネー	173,391
特定取引資産	1,179	債券貸借取引受入担保金	54,429
金銭の信託	2,983	借入金	46,533
有価証券	1,687,391	借用金	68,427
貸出金	5,079,734	外国為替	77
外国為替	3,435	社債	78,300
その他資産	45,872	信託勘定借	2
有形固定資産	116,412	その他負債	31,503
無形固定資産	3,400	退職給付引当金	9,837
繰延税金資産	52,549	睡眠預金払戻損失引当金	2,654
支払承諾見返	33,717	偶発損失引当金	2,561
貸倒引当金	△27,836	再評価に係る繰延税金負債	21,813
投資損失引当金	△897	支払承諾	33,717
		<b>負債の部合計</b>	<b>6,847,850</b>
		<b>純資産の部</b>	
		資本金	85,745
		資本剰余金	85,684
		資本準備金	85,684
		利益剰余金	122,816
		利益準備金	61
		その他利益剰余金	122,754
		圧縮積立金	3
		別途積立金	109,700
		繰越利益剰余金	13,051
		自己株式	△664
		(株主資本合計)	(293,581)
		その他有価証券評価差額金	5,171
		繰延ヘッジ損益	0
		土地再評価差額金	28,082
		(評価・換算差額等合計)	(33,254)
		<b>純資産の部合計</b>	<b>326,836</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>7,174,686</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>7,174,686</b>

中間損益計算書 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(単位: 百万円)

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>77,984</b>
資金運用収益	58,103
(うち貸出金利息)	(48,282)
(うち有価証券利息配当金)	(9,687)
信託報酬	3
役員取引等収益	12,199
特定取引収益	28
その他業務収益	1,152
その他経常収益	6,496
<b>経常費用</b>	<b>56,364</b>
資金調達費用	5,207
(うち預金利息)	(3,283)
役員取引等費用	5,603
その他業務費用	207
営業経費	37,931
その他経常費用	7,413
<b>経常利益</b>	<b>21,620</b>
<b>特別損失</b>	<b>446</b>
<b>税引前中間純利益</b>	<b>21,174</b>
法人税、住民税及び事業税	45
法人税等調整額	10,048
<b>法人税等合計</b>	<b>10,094</b>
<b>中間純利益</b>	<b>11,080</b>

(ご参考)

信託財産残高表 (平成23年9月30日現在)

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
有形固定資産	1,104	包括信託	1,247
銀行勘定貸	2		
現金預け金	140		
<b>資産の部合計</b>	<b>1,247</b>	<b>負債の部合計</b>	<b>1,247</b>

中間株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日～平成23年9月30日) (単位: 百万円)

科目	金額
<b>株主資本</b>	
<b>資本金</b>	
当期首残高	85,745
当中間期変動額	—
当中間期変動額合計	—
<b>当中間期末残高</b>	<b>85,745</b>
<b>資本剰余金</b>	
当期首残高	85,684
当中間期変動額	—
当中間期変動額合計	—
<b>当中間期末残高</b>	<b>85,684</b>
<b>資本剰余金合計</b>	
当期首残高	85,684
当中間期変動額	—
当中間期変動額合計	—
<b>当中間期末残高</b>	<b>85,684</b>
<b>利益剰余金</b>	
当期首残高	61
当中間期変動額	—
当中間期変動額合計	—
<b>当中間期末残高</b>	<b>61</b>
<b>その他利益剰余金</b>	
<b>圧縮積立金</b>	
当期首残高	3
当中間期変動額	△0
圧縮積立金の取崩	△0
当中間期変動額合計	△0
<b>当中間期末残高</b>	<b>3</b>
<b>別途積立金</b>	
当期首残高	98,300
当中間期変動額	—
別途積立金の積立	11,400
当中間期変動額合計	11,400
<b>当中間期末残高</b>	<b>109,700</b>
<b>繰越利益剰余金</b>	
当期首残高	17,443
当中間期変動額	△3,975
剰余金の配当	△3,975
圧縮積立金の取崩	0
別途積立金の積立	△11,400
中間純利益	11,080
自己株式の処分	△3
土地再評価差額金の取崩	△93
当中間期変動額合計	△4,392
<b>当中間期末残高</b>	<b>13,051</b>
<b>利益剰余金合計</b>	
当期首残高	115,809
当中間期変動額	△3,975
剰余金の配当	△3,975
圧縮積立金の取崩	—
別途積立金の積立	—
中間純利益	11,080
自己株式の処分	△3
土地再評価差額金の取崩	△93
当中間期変動額合計	7,007
<b>当中間期末残高</b>	<b>122,816</b>
<b>自己株式</b>	
当期首残高	△661
当中間期変動額	—
自己株式の取得	△12
自己株式の処分	8
当中間期変動額合計	△3
<b>当中間期末残高</b>	<b>△664</b>
<b>株主資本合計</b>	
当期首残高	286,577
当中間期変動額	△3,975
剰余金の配当	△3,975
中間純利益	11,080
自己株式の取得	△12
自己株式の処分	4
土地再評価差額金の取崩	△93
当中間期変動額合計	7,003
<b>当中間期末残高</b>	<b>293,581</b>
<b>評価・換算差額等</b>	
<b>その他有価証券評価差額金</b>	
当期首残高	3,000
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	2,171
当中間期変動額合計	2,171
<b>当中間期末残高</b>	<b>5,171</b>
<b>繰延ヘッジ損益</b>	
当期首残高	△0
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	0
当中間期変動額合計	0
<b>当中間期末残高</b>	<b>0</b>
<b>土地再評価差額金</b>	
当期首残高	27,989
当中間期変動額	93
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	93
当中間期変動額合計	186
<b>当中間期末残高</b>	<b>28,082</b>
<b>評価・換算差額等合計</b>	
当期首残高	30,989
当中間期変動額	2,265
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	2,265
当中間期変動額合計	2,265
<b>当中間期末残高</b>	<b>33,254</b>
<b>純資産合計</b>	
当期首残高	317,566
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△3,975
中間純利益	11,080
自己株式の取得	△12
自己株式の処分	4
土地再評価差額金の取崩	△93
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	2,265
当中間期変動額合計	9,269
<b>当中間期末残高</b>	<b>326,836</b>

\*表頁「□」がある編はオレンジの表紙側よりご覧ください